

報道関係者各位

令和7年度 全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会における 農林大学校生の受賞について

標記の発表会において、本校の学生がプロジェクト発表の部において優秀賞、意見発表の部において特別賞を受賞しましたのでお知らせします。

このことについて、ぜひ取材いただき、日頃の学習の成果を県民の皆様に周知くださいますようお願いいたします。

記

1 全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会の概要

(1) 目 的

全国5ブロック（東日本、関東、東海・近畿、中国・四国、九州）の農業大学校等の代表学生が一堂に会し、農業大学校等における「プロジェクト学習」の成果、意見を発表し合い、相互研鑽を深め、農業に取り組む自信と誇りを培う。

(2) 主 催

全国農業大学校等協議会

(3) 開催日

令和8年2月17日（火）～19日（木）

(4) 開催場所

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立オリンピック記念青少年総合センター
（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

(5) 発表者

プロジェクトの部15名（うち本校1名）、意見発表の部10名（うち本校1名）。

(6) 表彰者

- ・プロジェクト発表の部：最優秀賞1名、優秀賞1名、特別賞4名、優良賞9名
- ・意見発表の部：最優秀賞1名、特別賞4名、優良賞5名

2 受賞の概要（別添参照）

○プロジェクト発表の部：優秀賞（農林水産省経営局長賞）

受賞者：青戸翔汰朗（あおと しょうたろう）（野菜花き経営学科2年・中山町出身）

発表課題名：「芋煮会発祥の地」山形県中山町における“さといも”のブランド化への挑戦 ～栽培技術改善から次世代への食育活動～

○意見発表の部：特別賞（株式会社 日本農業新聞賞）

受賞者：齋藤京佑（さいとう きょうすけ）（野菜花き経営学科1年・河北町出身）

発表課題名：農家継承と将来への決意 ～さといもの強さを信じて～

3 過去の受賞歴

本校の全国大会での上位入賞（特別賞以上）は、プロジェクト発表の部では6年連続、意見発表の部では2年連続。プロジェクト発表の部において、全国大会における特別賞以上の受賞は、過去10年間（今年度を含む）で計11回であり、全国トップクラスである。

以上

問合せ先

担当 農林大学校 副校長 岸 哲嗣

電話 0233-22-1528

(別添) 本校受賞者概要

○プロジェクト発表の部：優秀賞（農林水産省経営局長賞）

発表者：青戸 翔汰朗（あおと しょうたろう）
（野菜・花き経営学科 野菜コース2年・中山町出身）

発表課題名：「芋煮会発祥の地」山形県中山町における“さといも”のブランド化
への挑戦 ～栽培技術改善から次世代への食育活動～

発表要旨：中山町は「芋煮会発祥の地」であるが、さといもの生産は活発ではない。そこで、将来の中山町産さといものブランド化に向け、安定生産技術及び作業の効率化の他、次世代への農業理解を深めるための食育活動も実施し、総合的な検討を行った。

○意見発表の部：特別賞（株式会社 日本農業新聞賞）

発表者：齋藤 京佑（さいとう きょうすけ）
（野菜・花き経営学科 野菜コース1年・河北町出身）

発表課題名：農家継承と将来への決意 ～さといもの強さを信じて～

発表要旨：大叔父の農業を継ぐために、長年勤めた自衛官を退職し大学校に入校した。入校後、将来の就農に向けて主力品目を模索した結果、地元の河北町はさといもの適地であることに気が付いた。そこで、将来の河北町産さといものブランド化を目指し、安定生産に向けた新技術の導入及び新たな販売方法について提案したい。